

日本を代表する山岳写真家の 1 人である菊池哲男は、そのキャリアを通して、30 年以上に渡り白馬の壮大な白馬岳の美しい自然を撮り続けてきました。こちらの 2 階建てのギャラリーでは、菊池自身が選んだ 40 枚ほどの傑作を見ることができます。これらの大判写真は、四季折々の山の姿を見せてくれます。神秘的な雲海に囲まれた山の頂上の息をのむような景色、ピンク色の桜に包まれた春の風景、また山の中の大きな八方池に映る秋の紅葉などをご覧ください。

菊池は若干 14 歳にして独学で写真を学び、その 6 年後から山岳写真に傾倒していきます。彼は、その早くから頭角を現したキャリアの中で数々の個展を開き、またニコンカレッジとヤマケイ・カルチャークラブの 2 つで教師を務めるなど活躍しています。2007 年には菊池哲男 山岳フォトアートギャラリーが、白馬八方尾根の和田野の森地区にある、和田野の森教会の敷地内にオープンしました。ギャラリーは赤い屋根をした美しいレンガ造りの建物で、そこへ行く途中に見える、敷地入り口の横にある小屋で、チケットをご購入いただけます。また小屋ではなんとコーヒー、または紅茶をお召し上がりいただけます。